

< 利用条件 >

本書は、本書の内容及び表現が変更されないこと、および出典を明示いただくことを前提に、無償でその全部または一部を複製、転記、引用して利用できます。なお、全体を複製された場合は、本書にある著作権表示および利用条件を明示してください。

本書の著作権者は、本書の記載内容に関して、その正確性、商品性、利用目的への適合性等に関して保証するものではなく、特許権、著作権、その他の権利を侵害していないことを保証するものでもありません。

本書の利用により生じた損害について、本書の著作権者は、法律上のいかなる責任も負いません。

Copyright (c) XMLコンソーシアム 2009 All rights reserved.

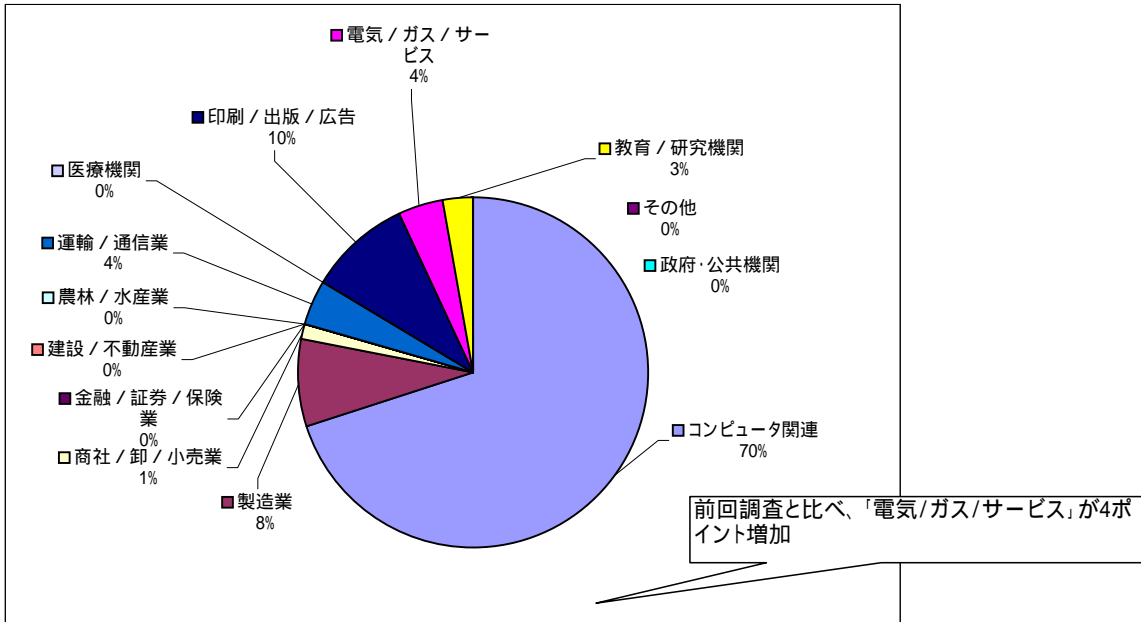
**概要**

期間： 2008年12月02日-2009年3月18日  
回答数： 90会員  
回答率： 63% (回答 90会員 / 会員数 144会員)

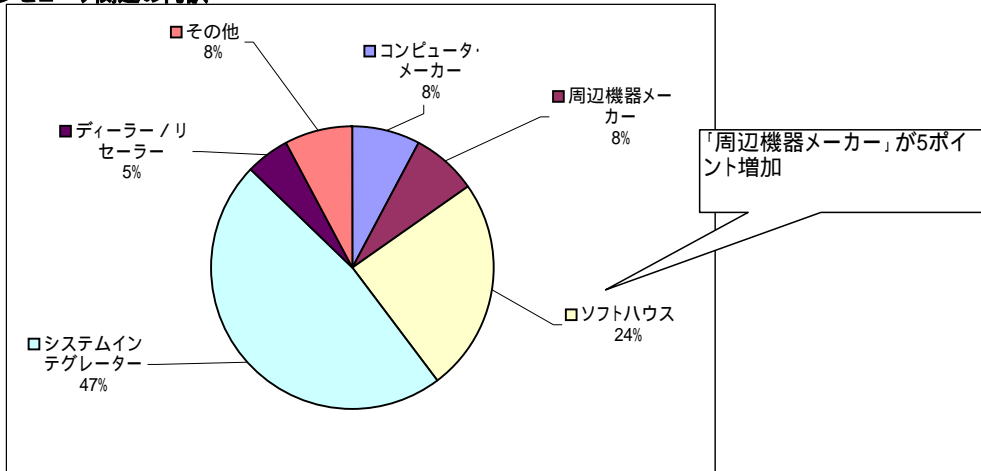
全体傾向	会員業種 満足度 嬉しい意見	大きな変化は見られない。  メンバーのみなさんが頑張っておられ、成果も感じられる。 参加者によるコミュニティ活動も素晴らしい 部会のリーダーは優秀、主要メンバーからITコミュニティへの貢献の熱意を感じる。 XMLの普及に大いに貢献している。 参加する期待やメリット 傾向に変化なし。 情報収集と部会への参加に対する期待が大きい。
------	----------------------	--

**XMLコンソーシアム「活動アンケート」**

1) 主要業種

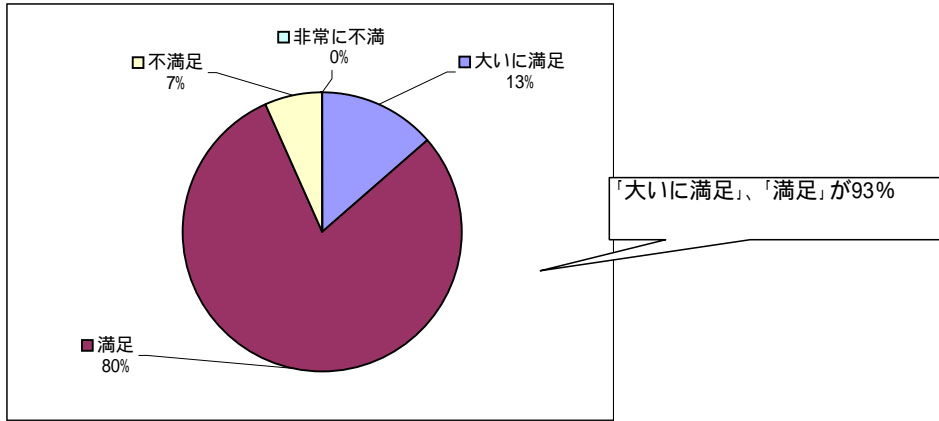


**コンピュータ関連の内訳**



その他：  
コンサルティング会社

2) XMLコンソーシアムのこれまでの活動に対する評価および選択された理由



「設問2：XMLコンソーシアムのこれまでの活動に対する評価および選択された理由」サマリー 回答母数：90社

大いに満足の理由：  
コメント数 11社/12社

会員間の交流、情報交換の場

最新情報を収集・取得できる

充実した活動

XML利活用推進をリード  
会費の安さ

- 8 人脈開拓、情報交換ができています
- 参加者によるコミュニティ活動も素晴らしい
- 他社との連携を行うきっかけ作りができた
- 企業の枠を超えた活動の場、人的交流の場としても意義深い
- XML活用企業間の知識情報交換、交流の場になっている
- 5 参加することで業界の動向が把握できる
- セミナーなどによる最新発信
- 新しい情報の収集
- 最新技術情報の確実な入手ができる
- 5 先駆的技術の有用性、使用方法ができる
- 部会活動が活発
- 1 XML利活用推進をリードし、貢献している
- 1

満足の理由：  
コメント数 46社/69社

業界/技術動向、最新情報、事例が収集できる 18

活発な活動(セミナー、部会、情報発信など総体) 12

XMLの普及に貢献  
成果

他社との交流、人的交流、情報交換

部会のリーダーは優秀

主要メンバーのITコミュニティへの貢献の熱意

柔軟な運用・方針展開

オープン

満足だが、ユーザー企業対応が若干弱い

参加したいと思うイベントを増やして欲しい

新しいメンバーの参加が乏しく刺激が薄い

- 最新の技術動向に合わせた活動
- 勉強会の継続開催
- 技術の習得に有効
- 充実した部会構成
- 企業の枠を超えた活動
- 7
- 6 Weekの情報が有意義
- 実際に使われている状態を確認できる
- 5
- 1
- 1
- 1
- 1
- 1
- 1
- 1
- 1
- 1

不満足の理由：  
コメント数 4社/6社

ユーザーニーズへの対応・ユーザーのXMLに対する期待や課題に対応できていない。

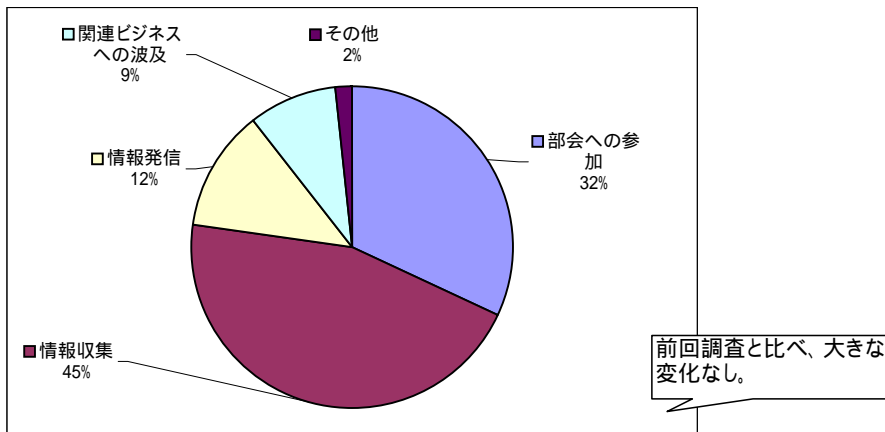
コンソーシアムにユーザー企業が少なく、生の情報や議論ができていないと感じる。

ユーザー企業に対するメリットのアピールが少ない。

XML/EDI標準化団体、OASIS/CEFACTなどの国際的XML標準化活動の連携が少ない。

セキュリティ部会への参加者(企業)が少ない。

### 3) XMLコンソーシアムに参加する期待やメリット



部会への参加	その他: テクノロジーの活用例の作成
情報収集	その他: XMLコンソーシアム・ウィーク
情報発信	その他: 活動のプレスリリースや研究発表の場
その他:	現在XML技術単独での興味が薄いためコンソーシアムへの特別な期待はありません。 今年度は具体的活動に参加できておりませんが機会があればスキル向上・他社との交流のために部会への参加をしていきたいと思っています 顧客の信頼獲得

#### 「設問4:XMLコンソーシアムに期待される今後のテーマ」サマリー

サマリー方法: 回答の自由記述文(90社)中に出てくるキーワードの数を趣旨を理解してカウント

ある社のコメントに同義のKWが複数出てきても1とカウント

ただし業界関連に関しては、作成者独自の判断の基に、出てきたキーワードから業界を類推したものあり。(例: 携帯 通信)

##### 技術関連

クラウドコンピューティング	7 XaaS、PaaS、IaaS、HaaS
セマンティックWeb	4
XMLDB	4
SOA	4
プロトコル	3 REST、コンパクトなXMLデータ形式(ネット向け)
SaaS	3
XML/EDI	2 XMLを期間のデータ交換に使用
RIA	2
e-learning	2 SCORM、教育ポータルフォリオ
Web2.0	2
セキュリティ	2 PKI
マッシュアップ	1
DITA	1
OpenXML	1 OOXMLとODF
XSLT	1
XSL-FO	1
ATOMpub	1
EA	1
仮想化	1
検索技術	1

##### 業界関連

印刷・出版・広告	4 キーワード コンテンツとしてのXMLおよびそのハンドリング、フォーマット 電子マニュアル 組版技術、印刷レイアウト 製造業におけるマニュアル、医療情報分野におけるR&D文書のXML化促進
通信・放送	2 移動体へのデータ配信 スマートフォン
製造業	2 PLMなどの連携、CADデータとの連携 ワークフローやマシン制御
公共・自治体	1

##### その他

技術動向/業界動向	3 Web3.0の予測
XML勉強会	2
セミナー	2
設計勉強会	1
事例・成功例	1
設計方法、開発手法	1
ガイドライン策定	1 プロトコル設計ガイドライン
MIJS と連携した SOA の具体的な活用方法	1
部会を横断するプロジェクトなど、幅が広がるような活動	1
ユーザ企業におけるXML活用術	1
応用分野	1
特定分野に関する製品や各社取り組みに関する比較/検証	1
業界間の情報流通	1
業界毎の情報交換	1

「設問5:XMLコンソーシアムに対するご意見、ご要望」の分析 回答母数:90社  
分析方法:回答の自由記述文の中に出てくるキーワードの数をカウント。

【肯定的意見】

- ・XMLは色々なところで活用されている。
- ・XML活用ノウハウを広める上で、資料にまとめることは良い。
- ・しっかりした運営体制と部会参加者の熱意に支えられ、地道ながら有意義な活動を継続している。
- ・情報基盤をSNSに移行するなど改善努力に努めている。
- ・XML利用実態俯瞰図の作成や気象庁防災情報XML化に対する支援活動など、特筆に値する活動と成果が誕生している。
- ・XML白書、XML開発ガイドの作成には、積極的に協力したい。

【期待】

- 5 ・XML白書、XML開発ガイドにとっても期待している。
- ・今後とも、最新情報発信に期待している。
  - ・規格や製品に関する海外での動向のいち早い察知と、国内情報の普及
  - ・より広い範囲に情報を訴求することが出来る団体であることを期待する。
  - ・部会の特色が濃く表れるXML開発ガイドの構成だと面白いのではないか。
  - ・ユーザーニーズへの対応、ユーザーのXMLに対する期待や過大に具体的に応えられる活動に期待している。

【要望】

活動内容・方法につし

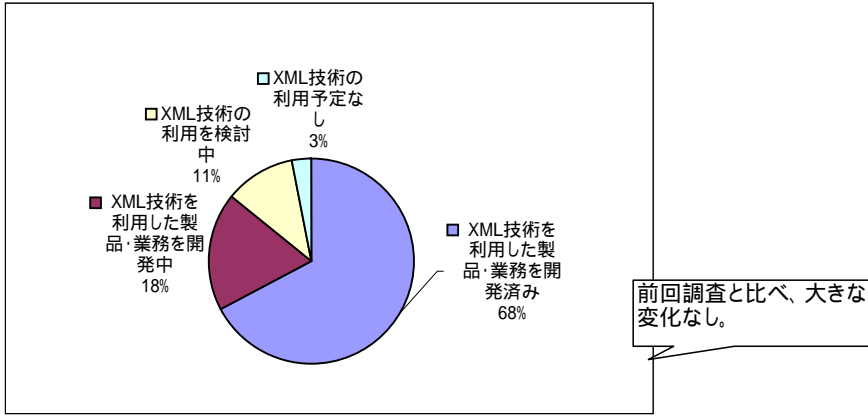
- ・セミナーなどの活動に、遠隔地からもWeb等で参加できることを希望する。
- ・XML白書、XML開発ガイドはWebコンテンツのみならず、PDFでの作成も必要かと思う。
- ・活動を継続し、情報を発信をお願いしたい。
- ・初心者向けのXML勉強会を開催して欲しい。設計できる人が不足している。
- ・中部地区(主として名古屋)での部会活動やセミナー開催を多くして欲しい。
- ・XMLスキーマ設計ガイドラインを提示して欲しい。
- ・いわゆる"XML Schema Basic"的な軽量で扱いやすいスキーマを構築して欲しい。
- ・実装技術とリンクしたガイドラインの策定やその適用方法に関する情報提供
- ・より実用的な技術推進を後押しする提案文章などの情報提供
- ・1企業の枠を超えて、新しい技術を普及・啓発するための課題を共有し、解決策を検討・実施すること。
- ・これほど広く、様々な活動をしている組織は他にない。
- ・未永く活動を続けて欲しい。
- ・具体的な成果をできるだけ広く発信して欲しい。

【提案】

- ・XML普及啓発の先導役として十分な役割を果たしてきた。次の展開を睨み、新しい形を模索する時にきていると思う。
- ・名前の露出が減っているように思える。露出機会を増やすことを再度検討してもよいのでは？
- ・広報活動が重要だと思う。

XML普及度アンケート

6)XMLに対する取り組み状況



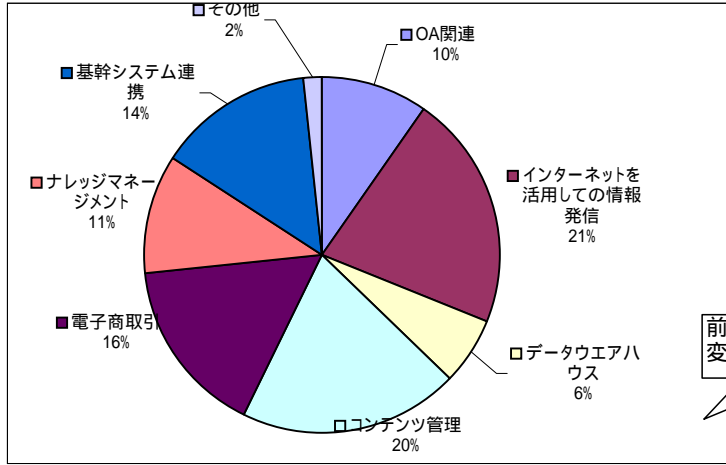
製品・業務を開発済み 製品・業務名:

BPEL関連製品 など
RichResouseStadium, XMLコンバータ
コンテンツをXML化し, Webや冊子媒体でお客様に提供
Webサービスを適用したシステム開発など。
データ連携など、いろいろなシーンで利用
REST
DataSpider Servista
製品・Realcom KnowledgeMarket, Realcom HAKONE for Notes
CMS業務
PRONEXUS-WORKS
Adobe InDesign向けXML連携ソリューション「SIPXS」や、TVCMLを利用した地デジ連携部品
SCOPEサービス等、検索エンジンを使用したサービス
コンテンツ管理
FileXML, MARCO POLO
情報・知識共有基盤 InWeave(インウィーブ)
WebSphere, DB2, InfoSphere, Rational, Lotus, Tivoliおよび各種サービス
Mextractr メタデータ抽出エンジン、個人情報フィルタ、for Mashup
Imperva SecureSphere WAF (海外製品の輸入)
HiRDB, Cosminexus, COBOL2002 他
法令関係のドキュメント処理
ViewMaker for Web
Luna XML
XMLデータベース「NeoCoreXMS」「Cyber Luxeon」
Interstage
SmartNavi
BizPal, デ辞蔵, Xmalar
Xuras inicio/Xuras workflow/infoScoop
内部監査管理システム
多数あり
Word2XMLコンテンツ入力エディタ, Word2Flashオーサリングツール, Ayaori - RSS文書とワークフロー管理システムなど
Interstage Application Server 等
各種業務システム
ASTERIA, ASTERIA MDM, OnTranqなど
アクセスブック
Sun Java ENterprise System
Allora: RDB - XMLリアルタイム・マッパー、XMLVision:XMLグラフィック・エディタ
DB2-9・会員管理システム(B2C)・基幹連携
xfy Enterprise Solutions, xfy Blog Editor, xfy Report Writer for XBRL EDINET対応版、ConceptBase Enterprise Search
UMLaut/J-XML
ADOS XMLStuido, Pluxis, ADOS Hestia, ADOS SiteArc
XML長期署名Le-XAdESライブラリ
Karearea, airLook, airCube, airSmartG
voizi (サービス提供中止)

利用予定なし 理由:

主に受注開発のため
教育が主業務のため

7)XML技術の適用領域として適するもの(複数選択)



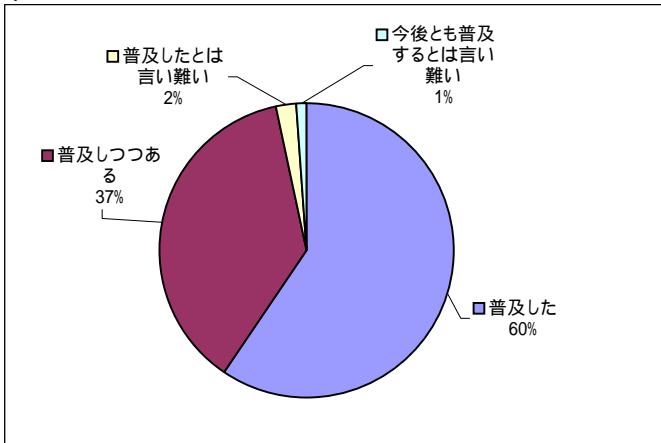
前回調査と比べ、大きな変化なし。

その他:

紙の出版物の制作
教育ポートフォリオ
データストレージ
機器制御、機器メンテナンス、機器入出力データ管理等

8)日本におけるXML技術の普及度合い

8 - 1)IT業界におけるXML技術の普及度合い



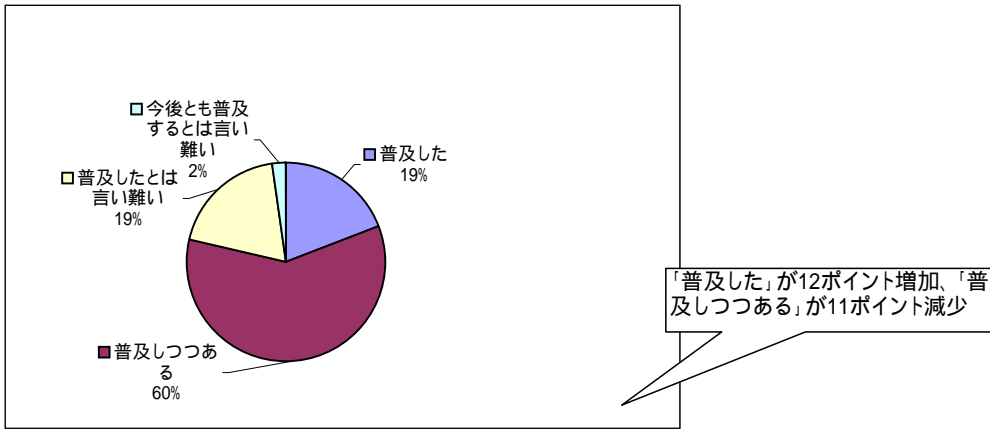
普及したとは言いがたい理由:

XMLどころか、業界標準的通信方法として未だ構造化されていないデータすらあるのが実情。
XML技術で設けている企業の有無?

今後とも普及するとは言いがたい理由:

わからない
-------

8 - 2) ユーザー企業におけるXML技術の普及度合い



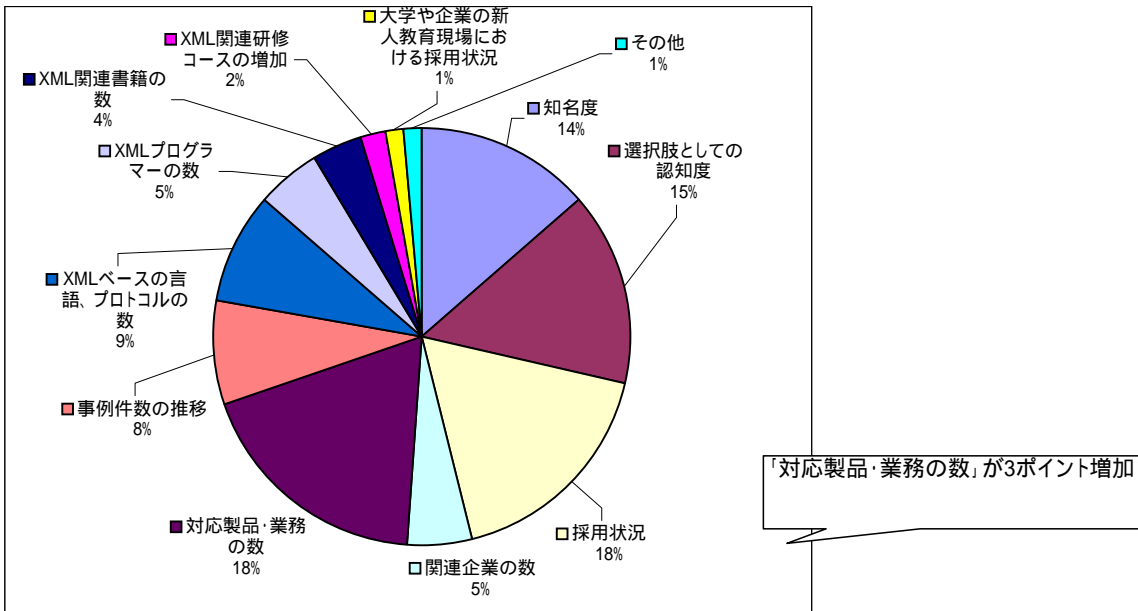
普及したとは言えない理由:

RDBがメインシステム
元々表に出てくる技術ではなく普及度合いがわからないため、これを選択しました。
XMLをデータ管理として用いるには高度な知識が必要。
認知度の低さもあるが、ユーザが関心を持つ内容とはレベルが違う場合がほとんどである。
XMLはシステムの中に隠れている。ユーザに見えない基盤技術だからIT業界では当たり前だが、ユーザ企業にとってはXMLのメリットが提示できていないように感じられます
従来の文書作成やファイル形式からXMLへの移行は新しいものに取り組み企業文化にも依存しているため、さらなる啓蒙が必要と考える。
ユーザー企業においては、XMLを利用するという視点では、システムを捉えていないのではないのでしょうか？
現実の業務のなかになかなか現れてこない
XML/EDIの標準化活動が期待したほど進展しない。
同業界内での適用事例を聞かない
特にメーカー系企業ではXMLの利点は理解しているが実装力がまだ低い点が見受けられる
XML自体は表に出てくる技術とは思えないので
ユーザの意識しない裏方の仕組みとしては浸透しており、単語としてもある程度知られてきたと思われるが、いざ積極的に活用するとなると、具体的な知識や理解がまだまだ足りないのではないかと。

今後とも普及するとは言い難い理由:

ユーザー企業がわかりません
特定業界でのフォーマット以外にエンドユーザが直接的に関連することは少ないのでは？

9) 上記設問を回答するにあたり、普及度合いを判定した基準(複数選択)



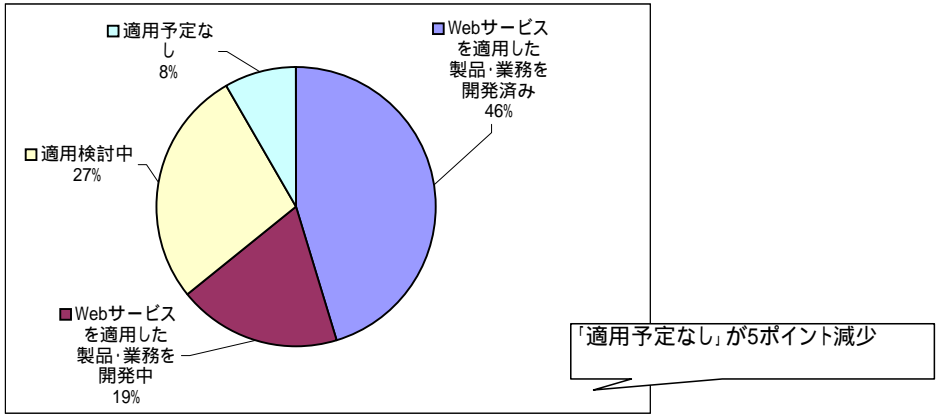
その他:

また、ユーザー企業を見る余裕が無いのでわかりません
ユーザー企業の声
応用技術の採用状況
自社及び関連企業の検分による



Webサービス普及度アンケート

10) Webサービスに対する取り組み状況



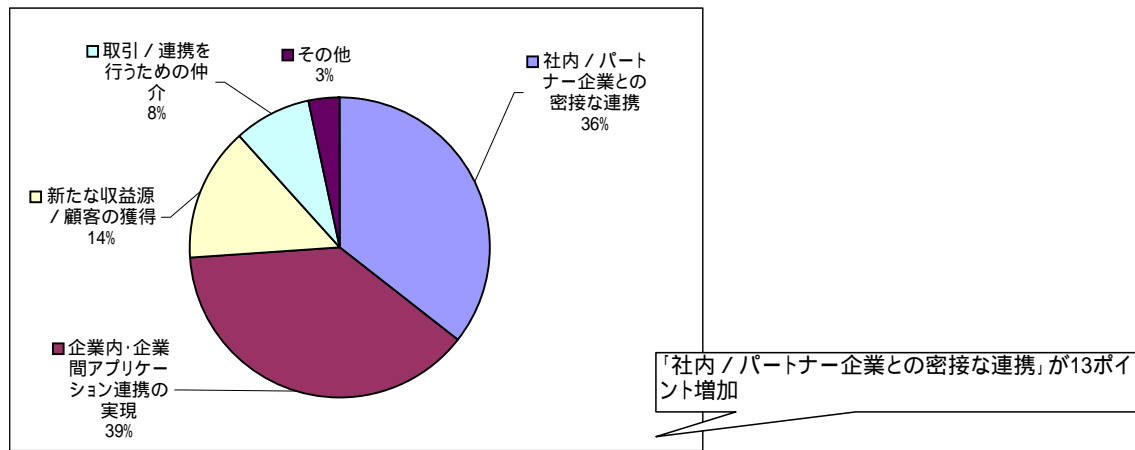
適用した製品・業務を開発済み 製品・業務名:

DataSpider Servista
製品: Realcom KnowledgeMarket, Realcom HAKONE for Notes
社内開発ツールの一部にて
いい色
コンテンツ管理
Prowise.XML, SOAソリューション
WebSphere, Rational 他
API-match.com ほか
Imperva SecureSphere WAF (海外製品の輸入)
Cosminexus, JP1他
Luna XML
Interstage
BizPal, テ辞蔵, Xamlr, MyBooks
FUJICOLORネットサービス
Interstage Application Server等
各種業務システム、各種サービス
Sun Java ENterprise System
xfy Enterprise Solutions
UMLaut/J-XML
Pluxis

適用予定なし 理由:

Webサービスを利用する立場でビジネス推進を行うため
「Webサービス」が指すものが判らないため、これを選択しました
弊社ビジネスモデルにおいて、適用する事にそれほど大きなメリットを感じていない
主に受注開発のため

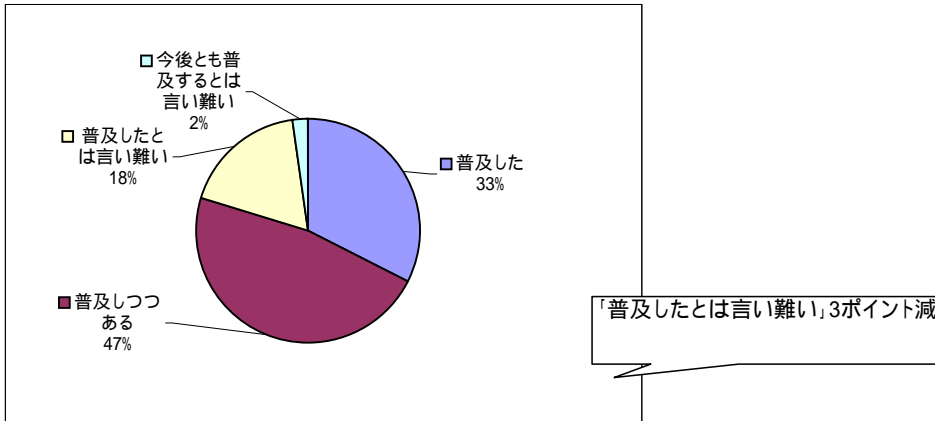
11) Webサービスを適用してみたい対象領域(複数選択)



その他:
移動体機器
教育分野での展開/新形態のe-learning
すいません、かけません

## 12) 日本におけるWebサービス技術の普及度合い

### 12 - 1) IT業界におけるWebサービス技術の普及度合い



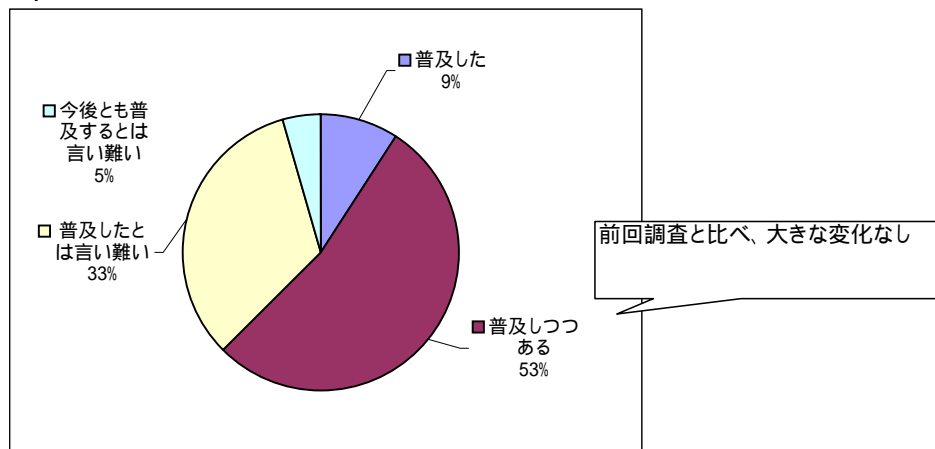
#### 普及したとは言いがたい 理由:

サービス連携による効率化に注目するが、顧客側が反対することがある。
UDDIが整備されていないためサービスの存在が分からない
価格が高い。
活用する機会がまだ少ない
8-1と同様の理由。加えてその技術利用の際の複雑さ。
活用した案件数
SOAPなどの狭義の意味では普及しているが広義の意味でのWebサービスは普及しているとは言いがたい
インフラが整備されているとは言えない
一部のITベンダーで積極的に採用されているが、中小規模ベンダーではまだまだ普及していない。
必要性、認知度、ベンダー製品は増えてきていますが、普及したと言えるほどに実際にユーザへの提供が進んでいない。
知名度は向上したが、システムでの採用事例はまだ少ないと感じる
まわりに事例が少ないと感じる。

#### 今後とも普及するとは言い難い 理由:

一頃よりまともな適用事例を聞かなくなった。
技術的に難しすぎる。

### 12 - 2) ユーザー企業におけるWebサービス技術の普及度合い



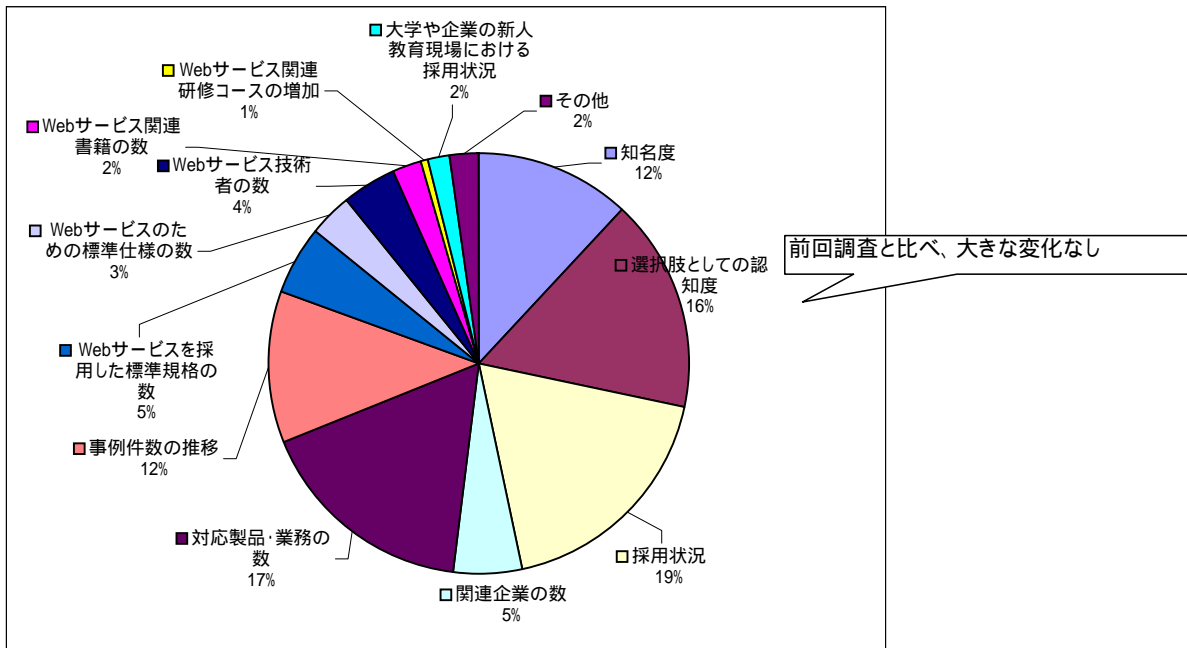
#### 普及したとは言いがたい 理由:

技術者不足
設問10に同じ
業務単位で管理されていて、他の目的での利用、サービス提供に難色を示すことがある
ユーザ企業にとって既存システムのWebサービス化することや利用する事が十分整っている環境になっていない
UDDIが整備されていないためサービスの存在が分からない
事例が少ない。
認識がまだ低い
8-2と同様の理由。
先進的なユーザ企業での利用はあっても、まだ、選択肢のひとつといった程度までは、話に乗らない。覚悟が必要そうです
XMLと同様の理由
事例を聞かない
提供されているサービスがまだまだ少ない
XMLを利用した製品の導入事例がまだまだと思われる。
必要性、認知度、ベンダー製品は増えてきていますが、普及したと言えるほどに実際にユーザへの提供が進んでいない。
情報企画部門が模様眺めのところが多い。
まだ導入事例などを目にする機会がないので効果の説明が難しいため
名前は知っていても採用に抵抗があるか、絵に描いた餅を見ている
旧来のWebアプリとの差を認識していない経営層が多い
まわりに事例が少ないと感じる。
Web2.0としての利用を除くと、実際の活用事例は限られるのではないかと、研究、実験的な側面がまだ強いような印象を受ける。

#### 今後とも普及するとは言い難い 理由:

メリットを理解&実感できないだろう。
TCOが高すぎる、ROIが低すぎる
技術的に難しすぎる。

13) 上記設問に回答するにあたり、普及度合いを判定した基準(複数選択)



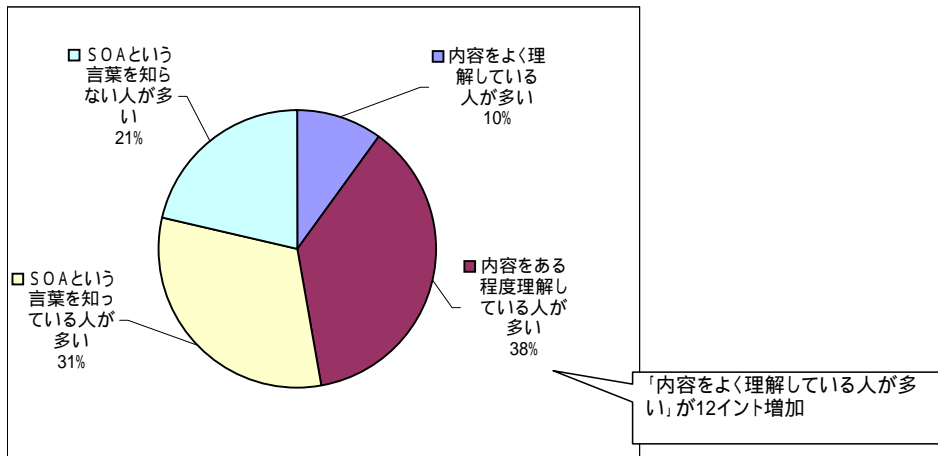
前回調査と比べ、大きな変化なし

その他:

基準を持っていません
ユーザやパートナーからの声
手軽さ
言葉の減少と併せた採用の増加数
自社を含むメーカー系企業の動向

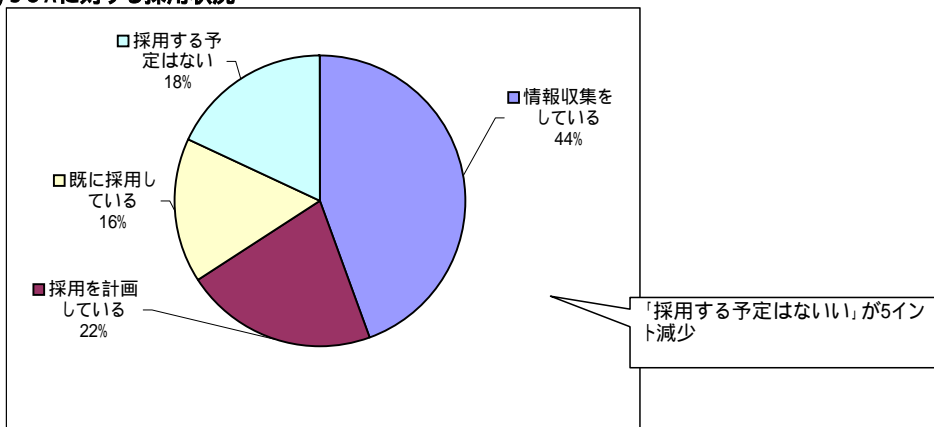
SOAに関するアンケート

14) SOAに関する社内の理解状況について



「内容をよく理解している人が多い」が12ポイント増加

15) SOAに対する採用状況



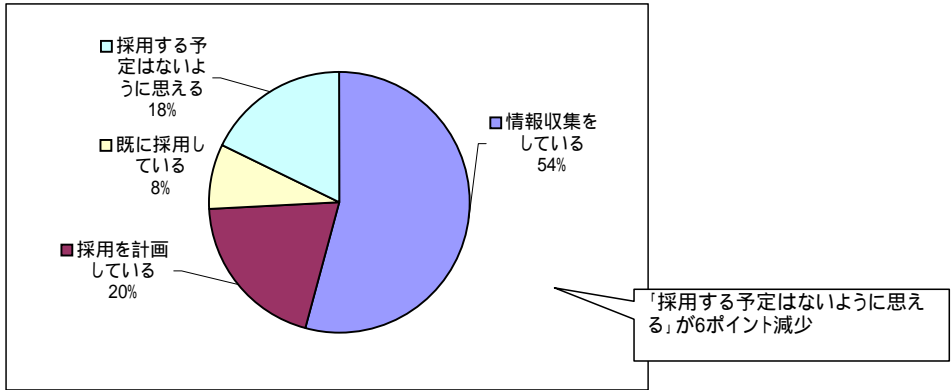
「採用する予定はない」が5ポイント減少

採用する予定はない理由:

弊社はユーザ企業のため、これを選択しました。
導入メリットを定量化できない。
ビジネス上のメリットを感じていない
関与していないのでわからないが、多分。
SOAという言葉知らない

適用すべき要件が特でない
企業規模
社外への提案は行っている。社内システムはリプレースしたばかりなので技術的に難しすぎる。

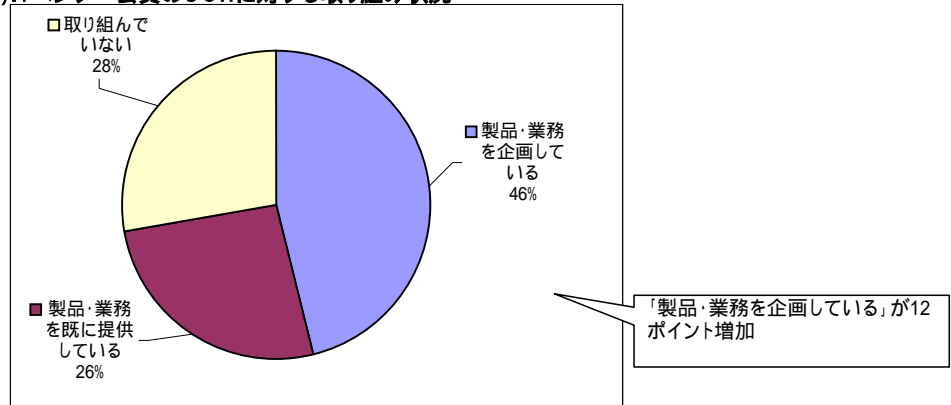
16) ユーザー企業における取り組み状況



採用する予定はないように思える 理由:

弊社内でSOAという言葉をまったく聞きません。
SOAを理解できていない。
ビジネスに直結するシーンがありません
認識がまだ低い
SOAという言葉を知らないのでわかりません
あまり話を聞かない

17) ITベンダー会員のSOAに対する取り組み状況



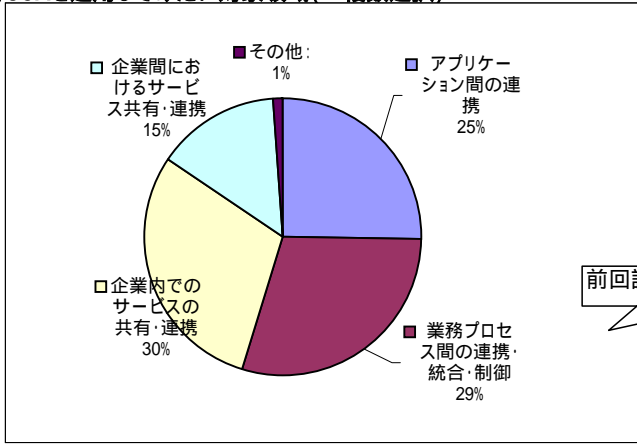
製品・業務を既に提供している 製品・業務名:

DataSpider Servista
SOA導入支援サービス
SOAソリューション
SW全ブランド、構築サービス、コンサルティング全般
Cosminexus, JP1 他
LunaXML
Interstage Service Integrator, Interstage BPM Flow, Interstage BPM Monitoring, CentraSite, EVOLUO等
ASTERIA
Sun Java CAPS
xyf Enterprise Solutions
Pluxis

取り組んでいない 理由:

提案ができない。
検証テスト、情報収集中の状況です。
企画するモデルがまだ、存在しない。ビジネス的な課題
主に受注開発のため
技術者不足
SOAを活用するような業務が見当たらない。技術者もない。
xMLコンテンツビジネスに注力しているため
SIとしての提案は行っているが、製品の開発は計画していない
弊社の体力的に、未だ実現できるまでには至っていないため
零細企業なのでメリットが無い。
まだ情報収集も含めて検討段階であり、具体的なプランは今のところ無い。
技術的に難しすぎる。

18) SOAを適用してみたい対象領域(複数選択)

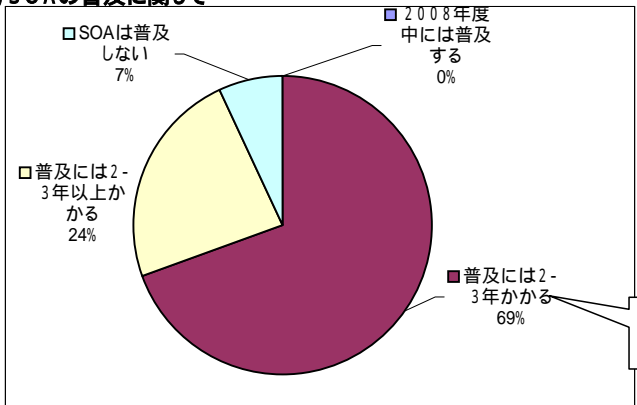


前回調査と比べ、大きな変化なし

その他:

すいません、書けません

19) SOAの普及に関して



「2008年度中には普及する」が4ポイント減少

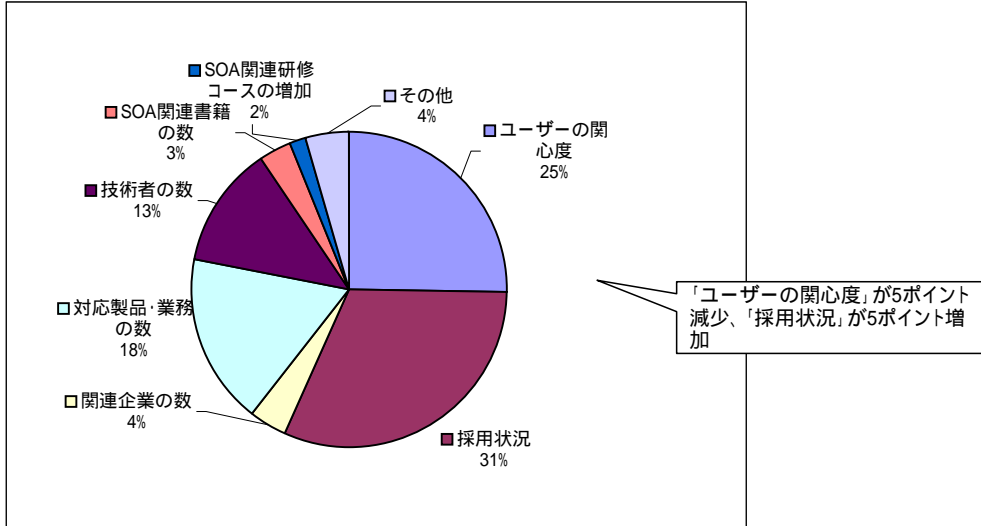
普及には2-3年以上かかる 何年以上:

4
3-5年
4-5年
ユーザ企業にとって導入メリットが薄い
認知度が上がるまでは不明
具体的に何が出来るのか?が重要である。パスワードばかり増えても世の中は何も好転しない。
4-5年
5~6年以上
IT企業以外ではSOAどころかようやくWebの業務利用が進み始めたレベルである。そのため全体的な普及には5,6年はかかると見ている

SOAは普及しない理由:

景気動向が悪くなりつつあるので、投資が抑制される。
概念的な要素が強く(SOAで普及という点に難しさを感じる。具体的実装アーキテクチャ等であれば、問いは成立
違うサービスとして展開する
技術的に難しすぎる。

20) 上記設問に回答するにあたり、どのようなことを念頭において普及予測をされたか( 複数選択)

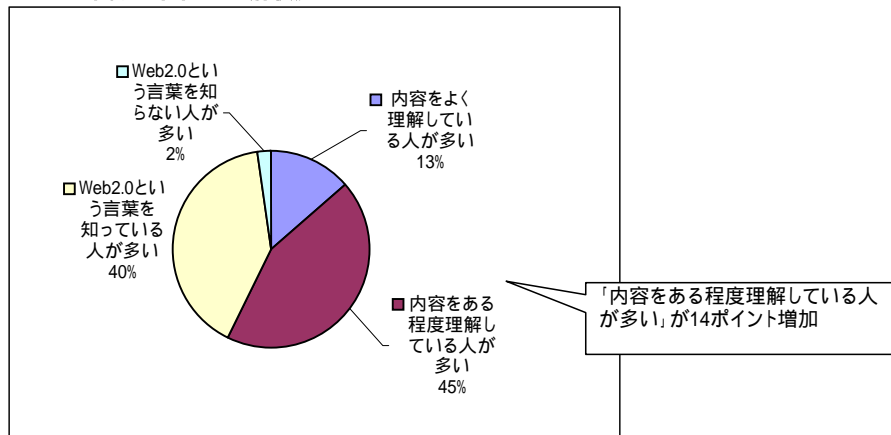


その他:

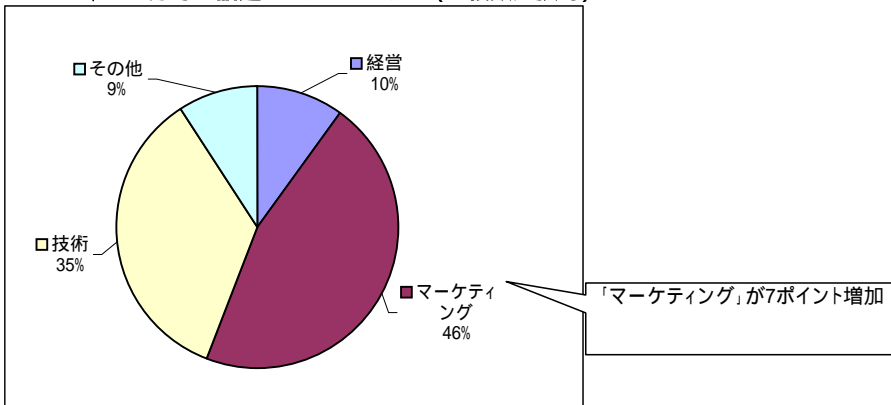
ユーザ企業の経済状況の悪化で予算が取れず、プロジェクト化出来ない
新たな代替技術の台頭
対応技術の成熟度
日本の企業文化
景気状況
世界的な経済情勢

Web2.0に関するアンケート

21) Web2.0に関する社内の理解状況



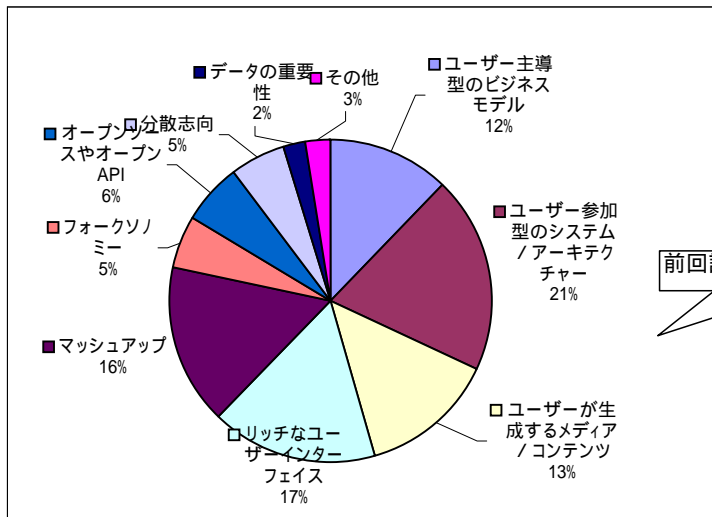
22) Web2.0は、どの分野の話題だと思われるか? ( 複数選択可)



その他:

コンシューマ向け
ユーザ
エンドユーザー/社員
インターネット利用者
コンテンツ
わからない
パスワード
質問の意図が理解しづらいため回答を避けます
情報インフラ
ビジネスモデルにも言及している

23) Web2.0と聞いて、何をイメージするか？ (複数選択可)

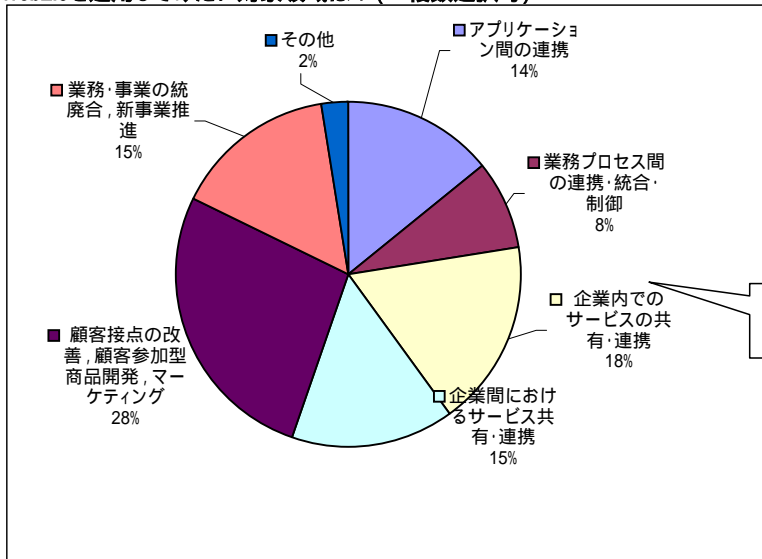


前回調査と比べ、大きな変化なし

その他:

利用者主導型ビジネスプロセス
結局は流行言葉
思い浮かばない
継続的成長
インフラ容量の増大と高速化
流行語

24) Web2.0を適用してみたい対象領域は？ (複数選択可)

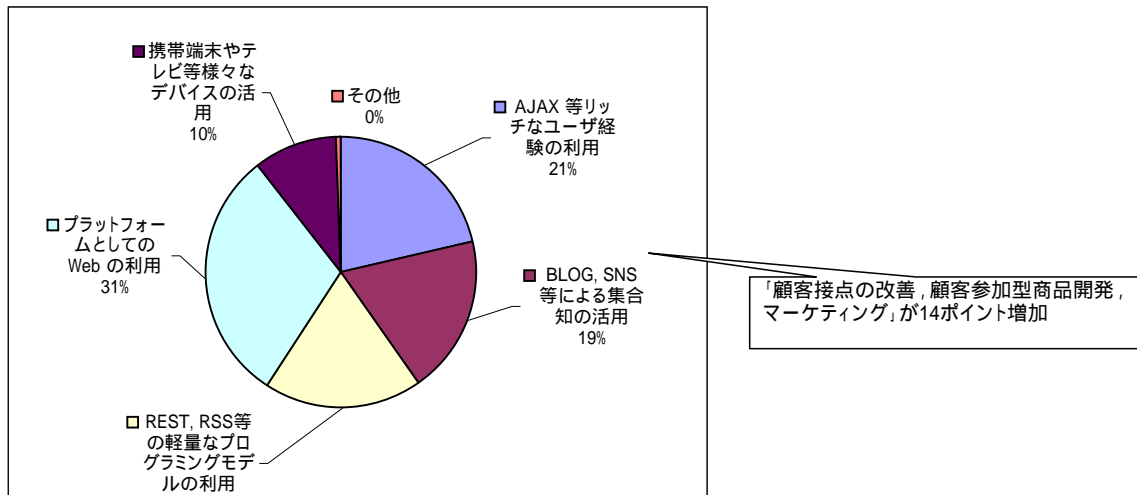


「顧客接点の改善, 顧客参加型商品開発, マーケティング」が14ポイント増加

その他:

社内外コミュニケーションのツールとして
すいません、書けません

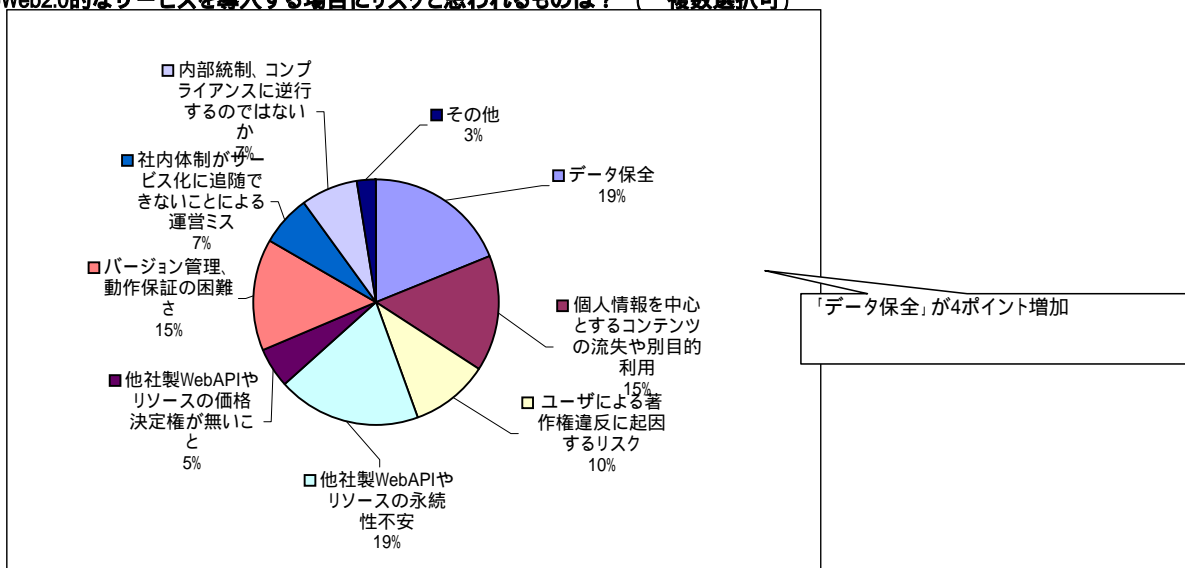
25) Web2.0のどの原則、側面がビジネスにとって重要または有用と考えられるか？ (複数選択可)



「顧客接点の改善, 顧客参加型商品開発, マーケティング」が14ポイント増加

その他:

26) Web2.0的なサービスを導入する場合にリスクと思われるものは？ (複数選択可)



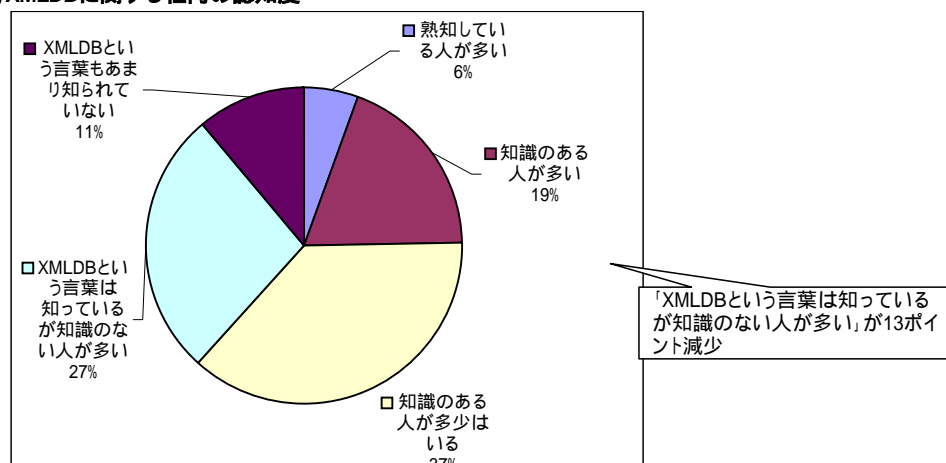
「データ保全」が4ポイント増加

その他:

技術者不足
処理性能
Web2.0の厳密な定義が存在しない上でリスクを特定といわれても困る
サーバ運用保証
中小零細では導入コストがかかりすぎ。

XMLデータベース(以下XMLDB)に関するアンケート

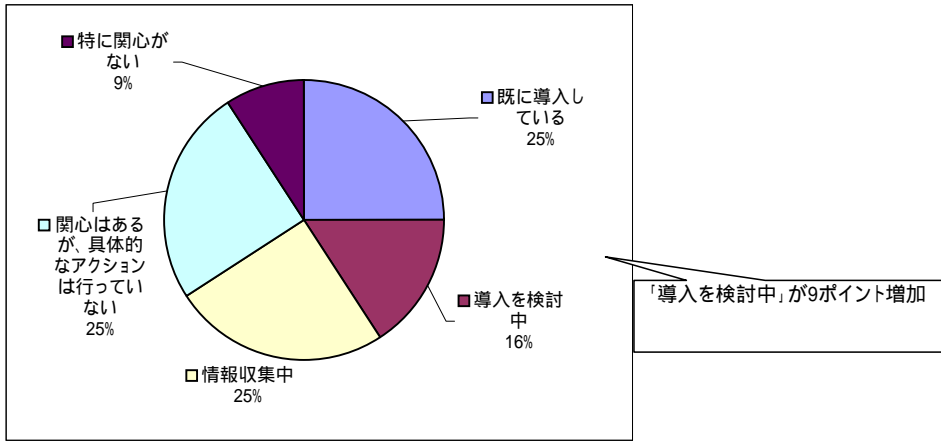
27) XMLDBに関する社内の認知度



「XMLDBという言葉は知っているが知識のない人が多い」が13ポイント減少



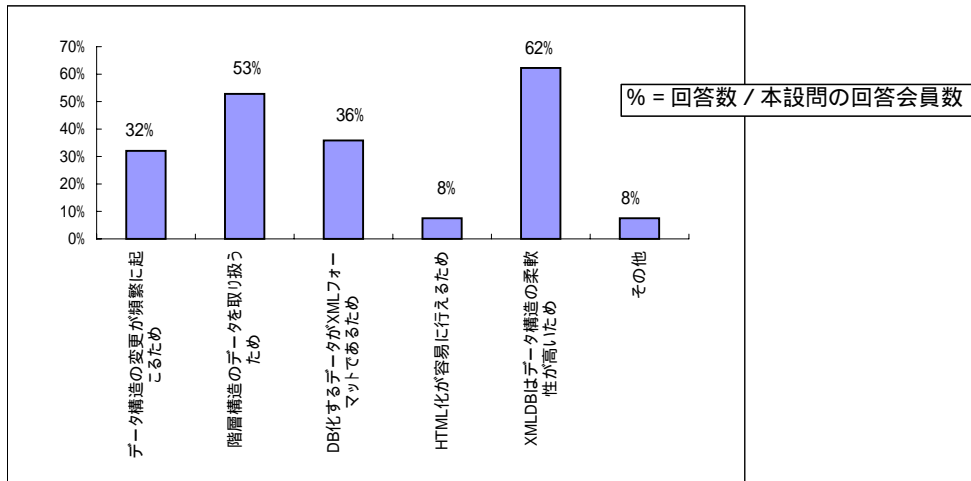
## 28)XMLDBに対する取組み/採用状況



### 特に関心がない理由:

XMLDBの将来性に疑問があるため。
それなりの規模で採用事例を聞かない
性能にあまり期待していない。
ビジネス上のメリットを感じていない
現実的ではない

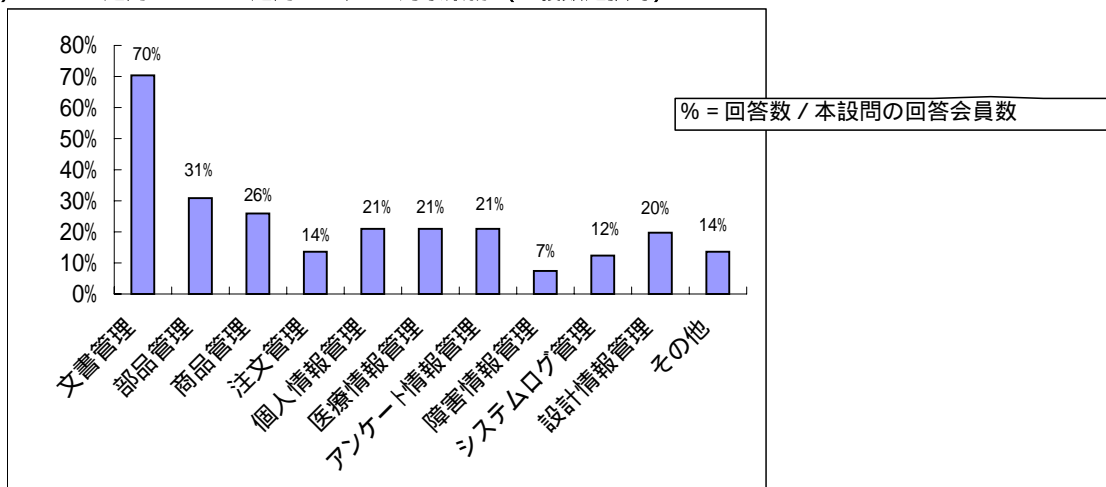
## 28-2)XMLDBの導入を検討している(またはすでに導入している)理由 (複数選択可)



### その他:

便利だから
検討していない。
非構造化データの格納
試用に購入

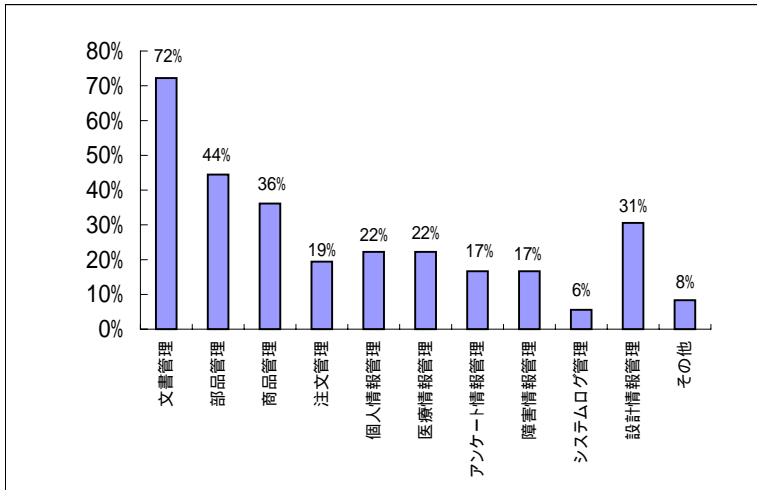
## 29)XMLDBを適用している / 適用してみたい対象業務 (複数選択可)



### その他:

紙面製作
特になし
システム構成管理
現時点では具体的な利用イメージはない
装置内におけるデータ管理or外部との入出力インタフェース

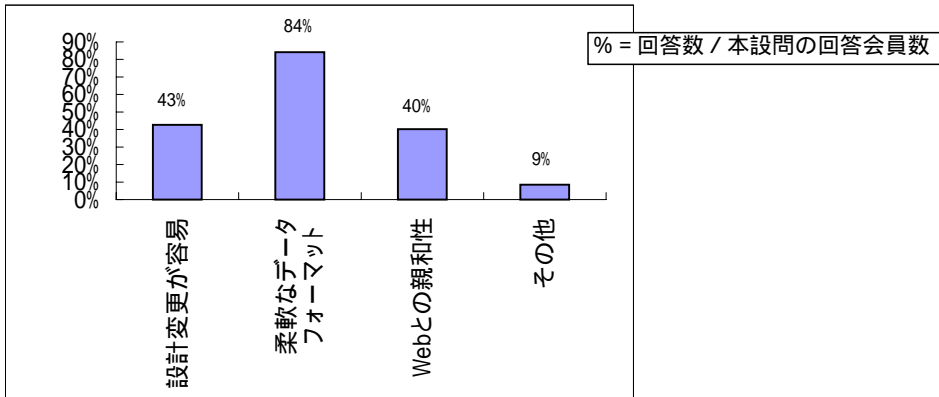
29-2)XMLDBを適用している/適用してみたい対象業務 (複数選択可)  
(すでに導入している/導入を検討中と回答した36会員)



その他:

各種申請システム
移動体向けのダイナミックコンテンツ管理
適した分野に利用予定
申請伝票管理
KM
生産情報/実績管理
紙面製作
特になし
システム構成管理
現時点では具体的利用イメージはない

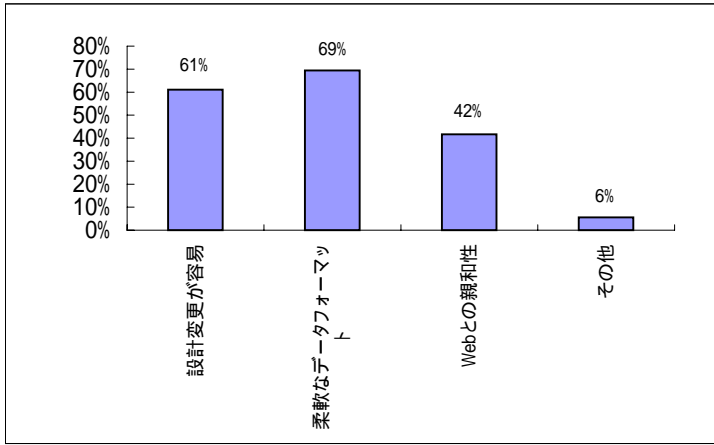
30)XMLDBのどのような点が有用である/有用になるであろうと考えているか? (複数選択可)



その他:

便利だから
今後コンテンツを階層構造を持つXMLで管理するため
検索
データ交換
一元管理多目的活用
現時点では具体的利用イメージはない

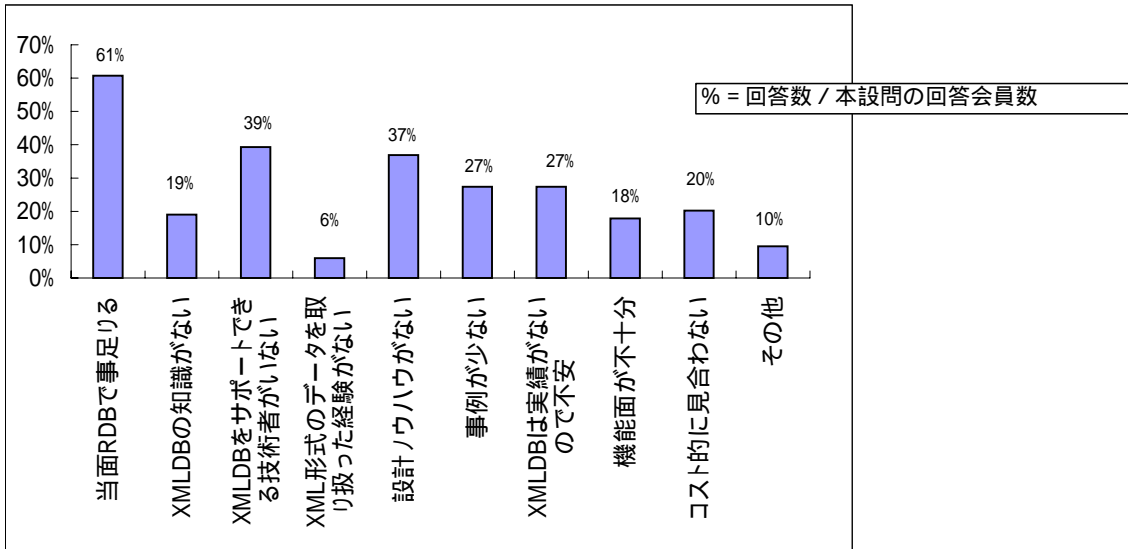
30 - 2)XMLDBのどのような点が有用である/有用になるであろうと考えているか？ ( 複数選択可)  
 (すでに導入している / 導入を検討中と回答した36会員)



その他:

便利だから
今後コンテンツを階層構造を持つXMLで管理するため
検索
データ交換
一元管理多目的活用
現時点では具体的利用イメージはない

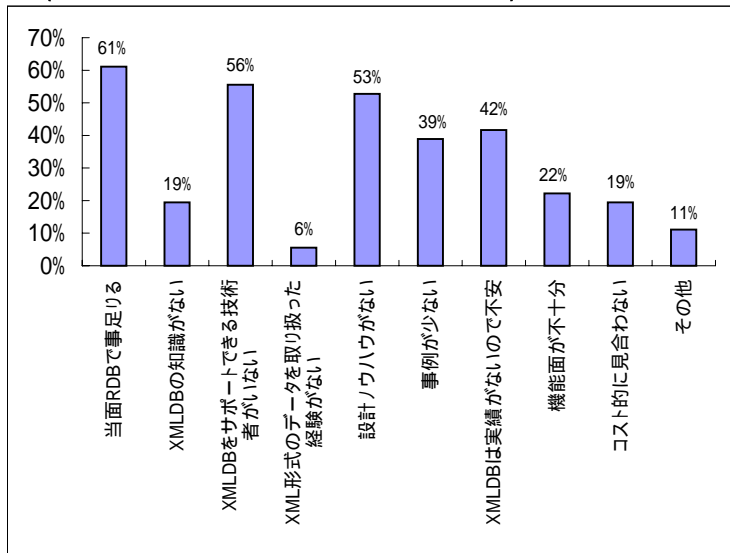
31)XMLDBを導入する場合に懸念/障壁があるとすれば、何？ ( 複数選択可)



その他:

更新が得意でない
特に無し
XMLDB導入の欲がない。
企画の難しさ
性能面が不十分

31)XMLDBを導入する場合に懸念/障壁があるとすれば、何？（複数選択可）  
 (導入を検討中/情報を収集中と回答した36会員)

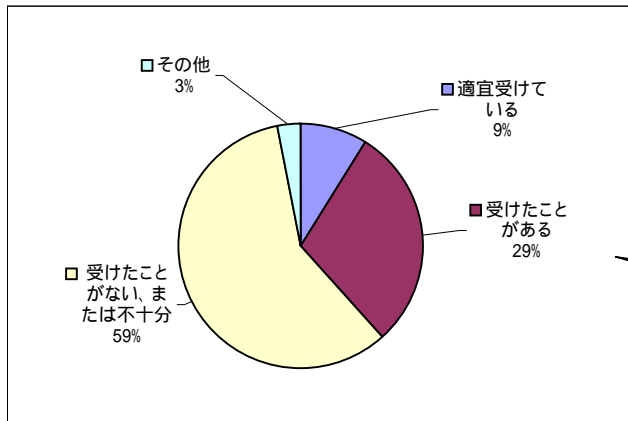


その他:

更新が得意でない
特に無し
XMLDB導入の欲がない。
企画の難しさ
性能面が不十分
従来のRDBorファイルシステム上のデータ管理との互換性

【ユーザー企業への質問】

32)システムインテグレータやベンダーからXMLDB関連情報やXMLDBによる提案を受けているか？



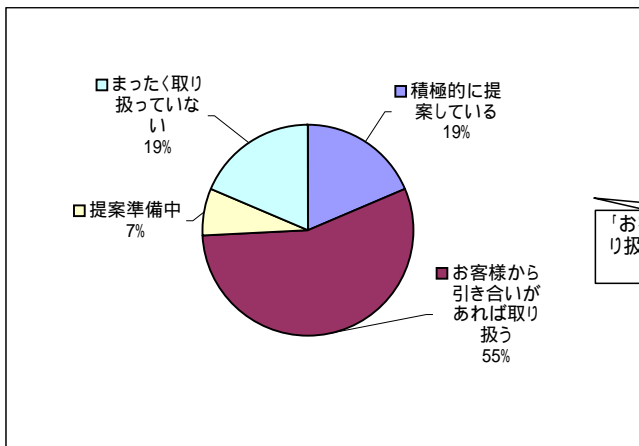
「受けたことがない、または不十分」が6ポイント増加

その他:

提供する側
-------

【システムインテグレータへの質問】

33)顧客に対してXMLDBを積極的に提案しているか。



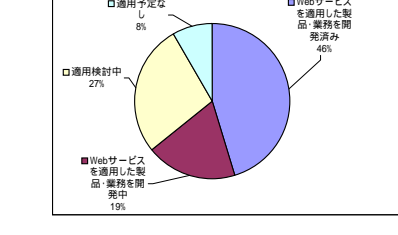
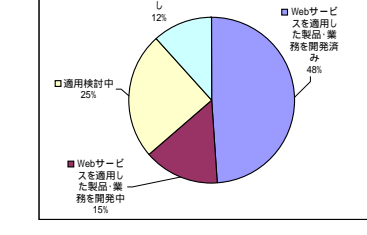
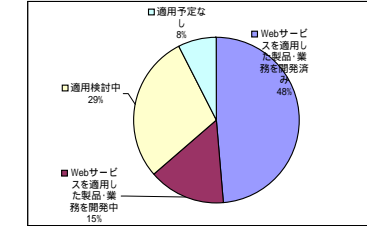
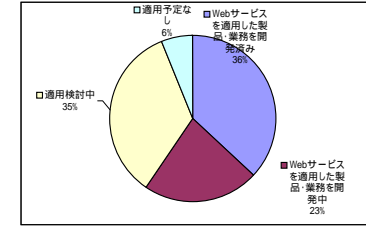
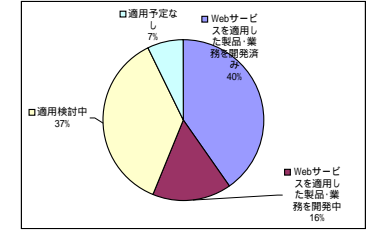
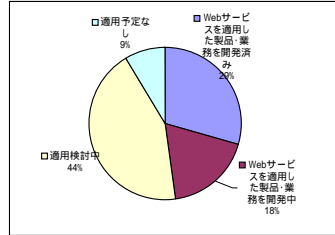
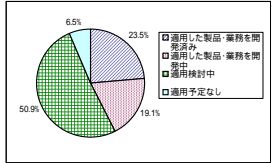
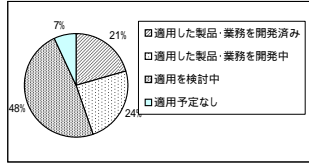
「お客様から引き合いがあれば取り扱う」が11ポイント増加

以上

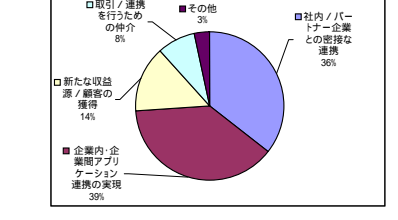
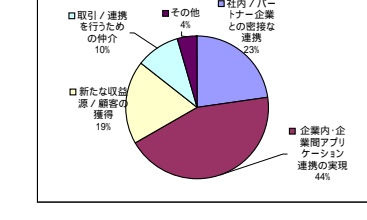
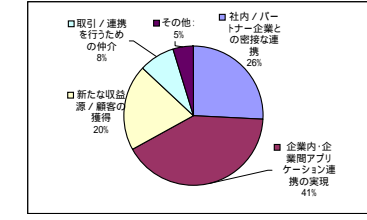
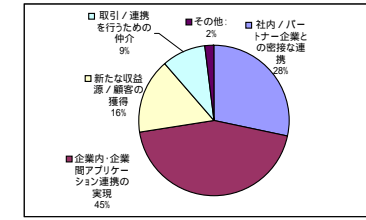
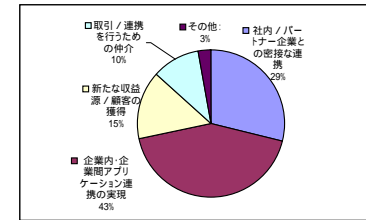
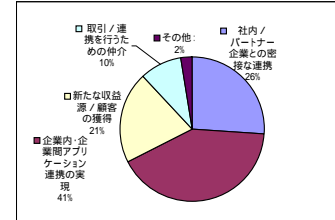
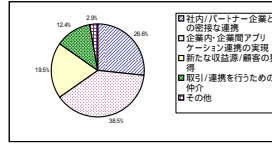
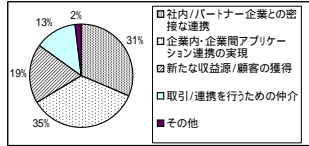


Webサービス普及度アンケート

8. Webサービスに対する取り組み状況



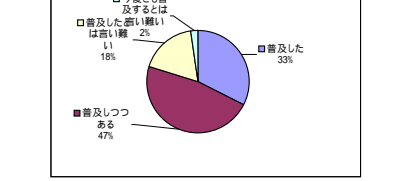
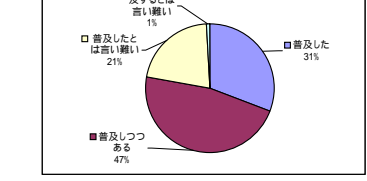
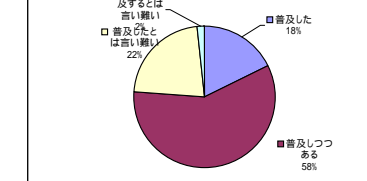
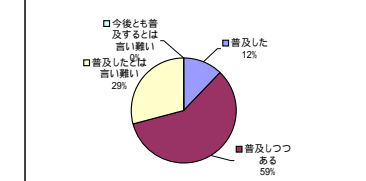
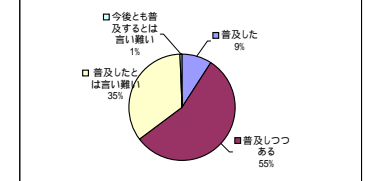
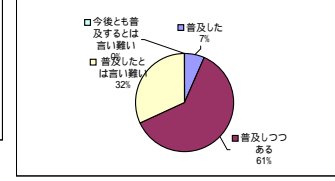
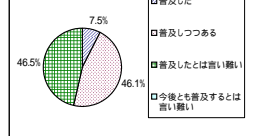
9. Webサービスを活用してみたい対象領域(複数選択)



10. 日本におけるWebサービス技術の普及度合い

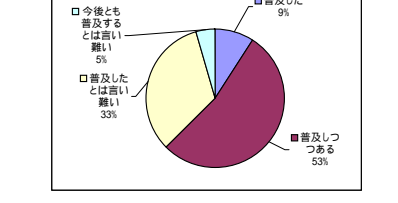
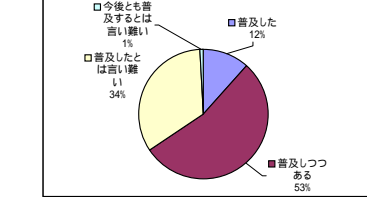
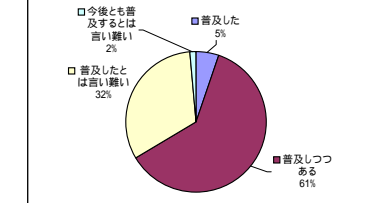
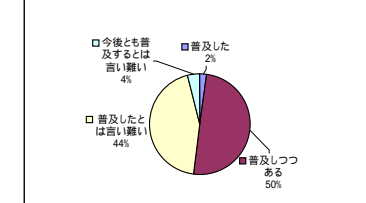
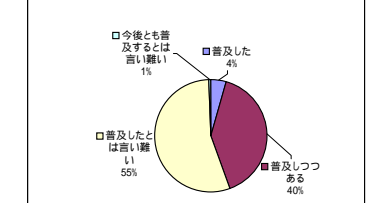
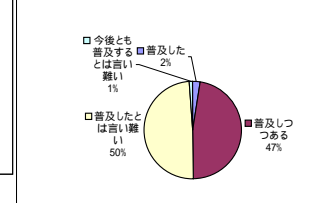
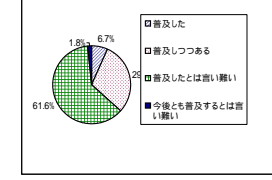
(1) IT業界におけるWebサービス技術の普及度合い

設問なし



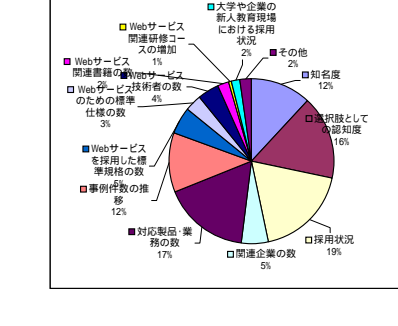
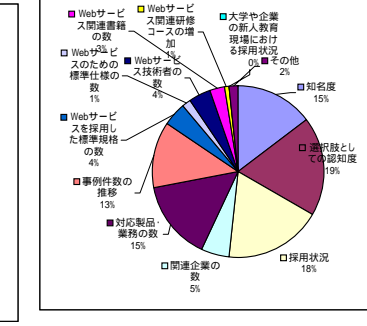
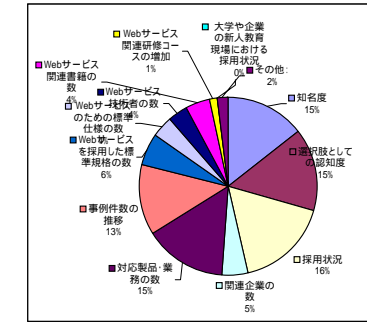
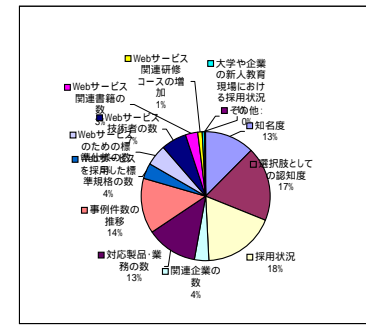
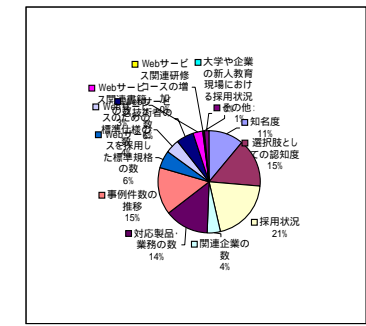
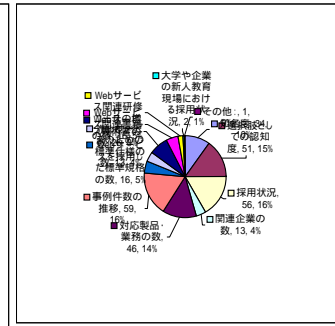
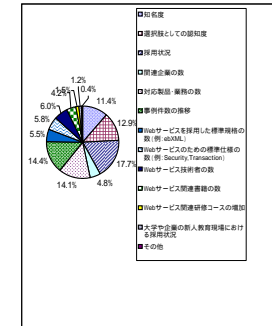
(2) ユーザー企業におけるWebサービス技術の普及度合い

設問なし



11. 上記設問に回答するにあたり、普及度合いを判定した基準(複数選択)

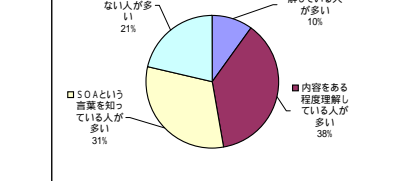
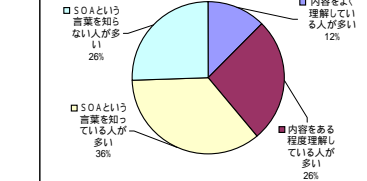
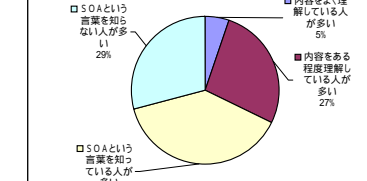
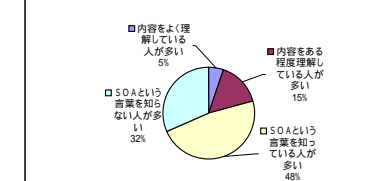
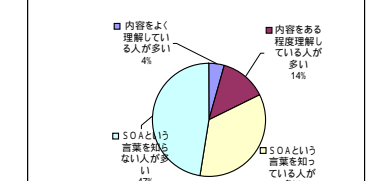
設問なし



12. SOAに関するアンケート

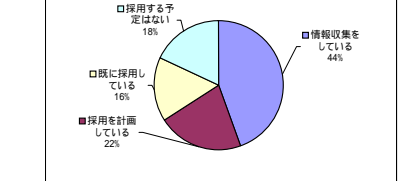
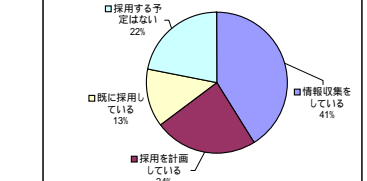
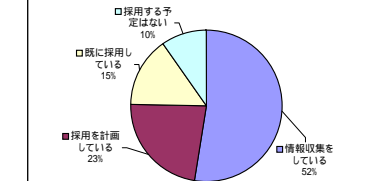
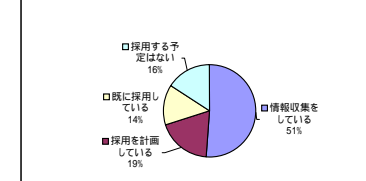
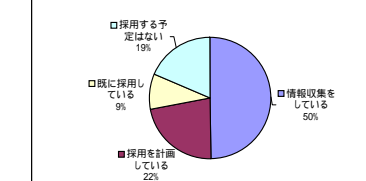
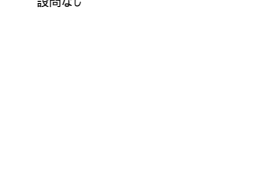
12. SOAに関する社内の理解状況について

設問なし



13. SOAに対する採用状況

設問なし



14. ユーザー企業における取り組み状況	設問なし	設問なし					
15. ITベンダー会員のSOAに対する取り組み状況	設問なし	設問なし					
16. SOAを適用してみたい対象領域(複数選択)	設問なし	設問なし					
17. SOAの普及に関して	設問なし	設問なし					
18. 上記設問に関連するあたり、どのようなことを念頭において普及予測をされたか(複数選択)	設問なし	設問なし					
Web2.0に関するアンケート	設問なし	設問なし	設問なし	設問なし			
19. Web2.0に関する社内の理解状況	設問なし	設問なし	設問なし	設問なし			
20. Web2.0は、どの分野の話題だと思われるか?(複数選択可)	設問なし	設問なし	設問なし	設問なし			
21. Web2.0と聞いて、何をイメージするか?(複数選択可)	設問なし	設問なし	設問なし	設問なし			

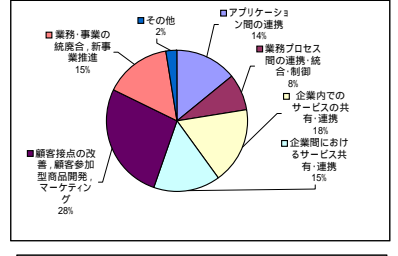
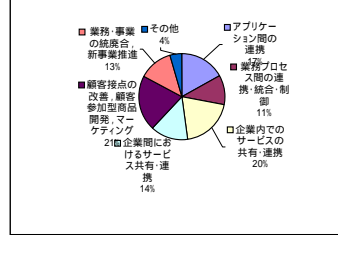
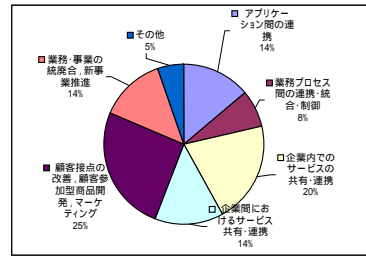
22. Web2.0を適用してみたい対象領域は？ (複数選択可)

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



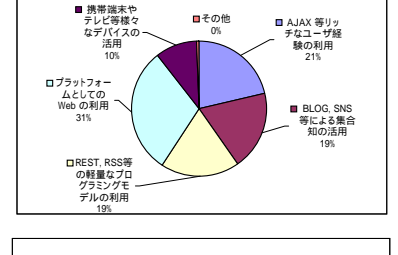
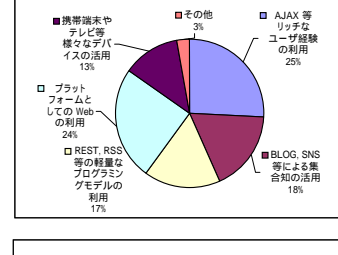
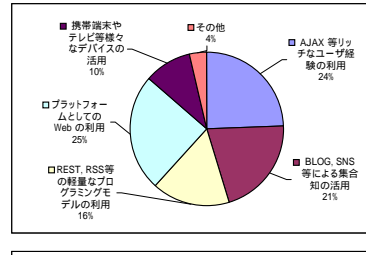
23. Web2.0のどの機能、画面がビジネスにとって重要または有用と考えられるか？ (複数選択可)

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



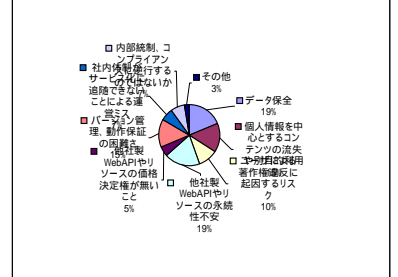
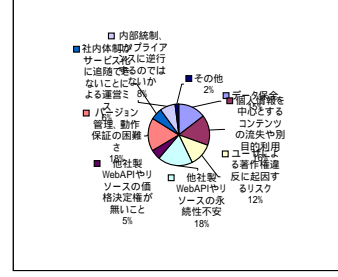
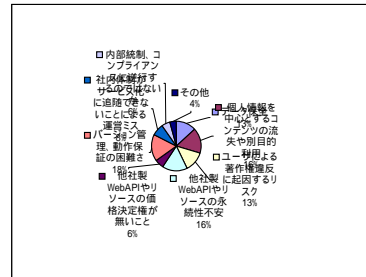
24. Web2.0的なサービスを導入する場合にリスクと懸念されるものは？ (複数選択可)

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



XMLデータベース(以下XMLDB)に関するアンケート

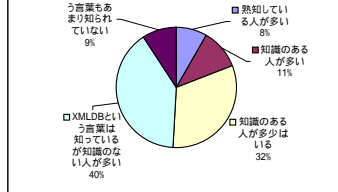
25. XMLDBに関する社内の認知度

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



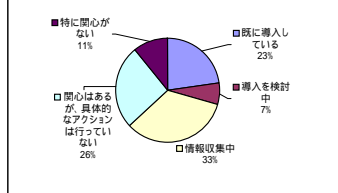
26 - 1. XMLDBに対する取組み/採用状況

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



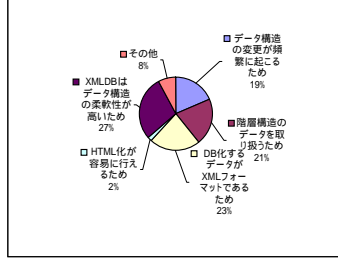
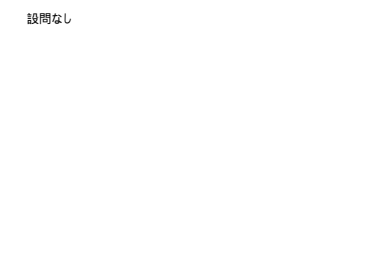
26 - 2. XMLDBの導入を検討している(またはすでに導入している)理由 (複数選択可)

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



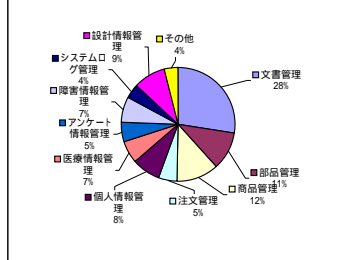
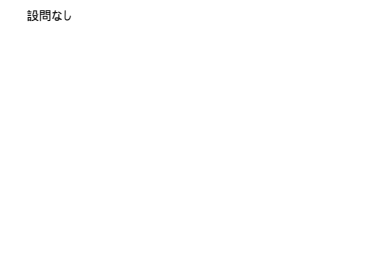
27. XMLDBを適用している/適用してみたい対象業務 (複数選択可)

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



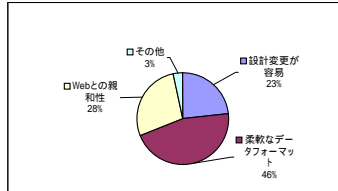
28. XMLDBのどのような点が有用である/有用になるであろうと考えているか？ (複数選択可)

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし





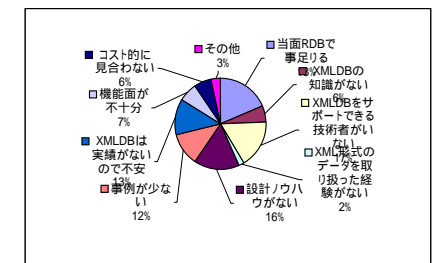
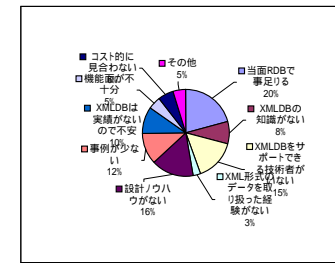
29. XMLDBを導入する場合に懸念/障壁があるとすれば、何？ (複数選択可)  
 設問なし

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



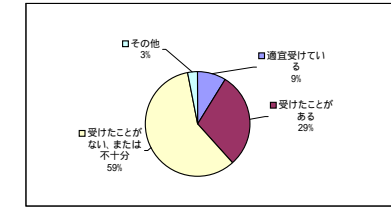
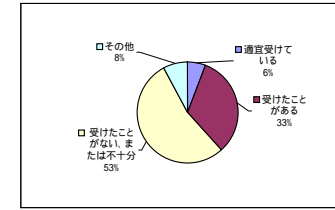
【ユーザー企業への質問】  
 30. システムインテグレーターやベンダーからXMLDB関連情報やXMLDBによる提案を受けているか？  
 設問なし

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



【システムインテグレーターへの質問】  
 31. 顧客に対してXMLDBを積極的に提案しているか。  
 設問なし

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし

